

6月8日

学芸講座「タイムマシン植物観察術—時空を旅するスミレたち—」 に寄せられたご質問に

講師・いがりまさし氏(植物写真家)

がお答えします Q&A

Q キスミレの分布について火山灰によって森林が消失し、林床が明るくなりこの地域に分布しているというお話でした。ただ、火山灰が積もった場合、その植生も消えてしまうのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

A そのとおりですが、噴火口からの距離などの条件により、その破壊の程度には地形や噴火口からの距離などによりむらがあり、むしろ小さな草本植物はわずかな待避所があれば、そこから森林が破壊されたあとの日当たりの良い草原へは進出しやすいと考えられます。

Q マクロ写真を撮るときに気を付けていることは？

A 一口では言えませんが、ピント面を意識することです。
参考＝
<https://www.plantsindex.com/tech/tech.cgi?mode=view>

Q 一番多くの種類のスミレがみられる都道府県はどこですか？山梨？

A おそらく長野県です。

Q なぜ、スミレを好きになったのか？その魅力は何なのか？

A 日本全国にそれぞれの種が分布し私にとって植生を見る窓のような役割を果たしています。

Q 毎月、海上の森に通っていますが、なぜスミレサイシンや山陰型タチツボスミレがあるのか気になっています。

A 有効な説明はありませんが、瀬戸市は現在でも愛知県内としては積雪を記録することが多く（少なくとも名古屋都心や豊橋などより）、ほかにもタニウツギなど、日本海要素植物があることを考えると気候的要因だと考えられますが、現在だけでなく過去の気候の名残である可能性もあります。また、サンインタチツボスミレは、高知県の宿毛などにも分布が知られており、積雪というより、雨雪問わず、冬季の降水に依存する分布ではないかという見方も成り立ちます。